

第3回成長のための人的資源活用検討専門チーム 議事要旨

日 時：平成25年3月18日（月） 10時00分～12時00分

場 所：中央合同庁舎4号館4階共用第2特別会議室

出席者：清家座長、阿部委員、安藤委員、小塩委員、山田委員

○事務局より参考資料の若者・女性活躍推進フォーラムについて報告

○事務局より提出資料説明

○小塩委員より賃金決定要因の変化等についてプレゼンテーション

○森戸委員よりについて正規・非正規問題等についてプレゼンテーション

○意見交換

・景気と労働移動について、日本では景気が回復すると事業再編への意欲が落ちて労働移動が鈍くなるという傾向がある。むしろ景気が悪いときの方が労働移動が起こりやすい。なんらかのインセンティブが必要ではないか。日本の男性の長時間労働は見直しについて、企業側からはアウトプットが減るのではないかという危惧が出されることが考えられる。北欧の場合であるが、仕事のやり方として資料作りが簡潔で調整過程を省略していることと、在宅勤務を活用している点がある。北欧では労働時間の形を自由に選択できるという特徴がある。日本でも制度面での見直しが考えられるのではないか。

・北欧の在宅勤務等については、日本でも法制上は特段の阻害要因はないと考える。制度面よりも仕事のやり方ということではないか。例えば、日本では職場で一緒に仕事をするという雰囲気がある。在宅勤務導入促進という方向性については同意。

・労働移動は同じ産業や同じ職種が大部分ではないか。分析したことはあるが、金融でITをやっていた人が小売りのITに移動するというのはほとんどない。マッチングをするミドルマンがないのが原因ではないか。